

川上村統合小学校に係る基本構想

～ 郷土を愛し健やかに・未来に向かって伸びやかに ～

川上村に生まれたことに誇りを持ち、自然豊かな郷土を愛し、友だちとの交流を深めながら、心身を鍛え、学力を伸ばし夢に向かって大きく羽ばたく子どもを育てます。

1 基本方針

川上第一小学校・川上第二小学校の2校を統合し新しい小学校を設置します。

その際、川上中学校に併設させることで、小学校児童数の減少に対応すると共に、併設した環境を生かした児童生徒の交流や教育内容の充実を図り、地域の実情等を踏まえた川上村にふさわしい一貫した教育を実践し、川上村の自然環境を活かした学校づくりを目指します。

2 目指す統合小学校

(1) 安全性と安心感を兼ね備えた空間的に余裕のある学校

統合小学生児童が一日を過ごすための安全で快適な生活空間を確保し、また、障がいのある子や心の安定が必要な子に対応するための、バリアフリーなどに配慮した学校とします。

(2) 確かな学力を保証する学校

統合小学校を中学校に併設することで、教育内容の充実、学力の向上、特別支援教育の充実、キャリア教育の充実等に向けて協働し、主体的な学び・対話的な学び・深い学びを創造するため、ICTの環境整備を含め、多様な学習活動ができる学校とします。

(3) 豊かな心・健やかな体を育む学校

校舎内外に、統合小学校児童の様々な交流の場を設け、友だち関係づくりを高めながら楽しく活動的に過ごし、情操を育み創造的で個性豊かな子どもを育てる学校とします。

(4) 学校種間の交流が円滑な学校

統合小学校の児童が渡り廊下などを介して、中学校生徒と自由に行き来し、互いの交流を通して自己を高めると共に、小学校職員と中学校職員が頻繁に交流し、自校の教育内容を高めていく学校とします。

(5) 地域の交流・文化拠点となる学校

地域の教育力を生かし学校の特色や魅力をさらに高めるために、地域の方々にとっても親しみが持て多様な利用が可能となる学校とします。

(6) 地域の防災拠点となる学校

災害に対して安全・安心を確保できる強い施設とし、一時的な地域の避難所としての役割を果たす学校とします。

(7) 柔軟性に優れた学校

施設・設備の規模や内容等は、充実した教育課程の実践や将来の児童数の推移に対応し得る、利便性と耐久性を兼ね備えた柔軟性のある学校とします。

【参考】未来を担う子どもたちを育むための取組

- 児童数・生徒数減少への対応
- 教育内容の充実・学力の向上・主体的な学びの実践
- ふるさとを愛する心を育む ○教育施設の充実
- 特別支援教育の充実 ○奨学金制度の充実

川上村総合計画(平成30年3月)第2章「1. 学校教育」主な取組より